



CHARTERED JAN,3, 1980

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

仙台青葉城ワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI-AOBAJOH

Sendai YMCA, 9-7 Tachimachi,
Aobaku, Sendai 980-0822 Japan

〒980-0822

仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL(022)222-7533 FAX(022)222-2952 E-mail:info@sendai-ymca.org

== 2015~2016年度 主題 ==

国際会長【信念のあるミッション】 Wichian Boonmapajorn (タイ)
アジア地域会長【愛をもって奉仕をしよう】 Edward K.W.Ong (シンガポール)
東日本区理事【原点に立って、未来へステップ】 渡辺 隆 (甲府)
北東部部長【今と原点を融合して未来へ】 中川 典幸 (仙台)
クラブ会長【未来を信じて共に歩もう】 菊地 弘生 (仙台青葉城)

VOL. 388

2015年11月

強調月間：ワイズ理解/ ファミリーファスト

<今月の聖句>

天(あめ)の下のよろずの事には期(とき)あり。

(伝道の書3章1節)

ワイズ理解と国際協会の目指すもの

ワイズとはどんな組織?と友人に聞かれた時、皆さんはすぐに答えられますか。ワイズ理解の強調月間の機会に改めて考えてみることは友人知人をワイズに誘う意味からも価値があることではないでしょうか。ワイズとは紋切り型に言うと定款に書かれてある通りですがちょっとした会話の中で相手に説明するには堅過ぎます。一言でいえば「友好と奉仕と自己の向上を同時に実現できる集まりで人類のためにより良き世界を実現することを目指す国際友好団体」とでもいうのでしょうか。

わが国際協会はワイズ創立100年を迎える2022年には世界100カ国に50,000人の会員数を要する組織にするというのが目に見える目標(*)です。運動体である以上、我々のミッションがより広く世界に行きわたることが望まれ、そのためにはより、より多くの会員が存在することが望まれるわけです。現在の国際協会はここ10年程30,000人前後の会員数を維持はしておりますが、これはインド、韓国の伸長とアメリカ、カナ



元国際会長
藤井寛敏
(東京江東クラブ)

ダ、オーストラリアの減少、日本などの停滞というアンバランスな構成を強めております。

日本、台湾などクリスチャンが少ない国での会員数の増加はアメリカ、カナダのYMCAが宗教団体とみなされることからC(Christianity)のイメージを薄めている現状からして、ワイズもCとどう向き合っていくかが大きなカギとなるでしょう。

(*この目標は「ビジョン2022」といい、ワイズメンズクラブ国際協会創立100周年の2022年に向けて、2022行動計画の実行を誠実に進める決意です。ビジョン2022の目標は、2022年までにワイズの存在を100か国に、会員を5万人に増強することです。)

10月例会				B F		スマイル	
会員数	13名	メネット	3名	切手	0 kg	今月	24,213円
出席者	11名	ゲスト	17名	現金	0円	累計	51,810円
Make-Up	0名	出席率	85%	累計	0円	ファンド	0円

会長	菊地 弘生
副会長	涌澤 博
書記	加藤 重雄
会計	遠藤 勝志
直前会長	南澤 一右
メネ会長	佐藤あつ子
担当主事	青木 絵美

10月第一例会メネットナイト報告

日時 2015年10月15日(木) 18:45~20:45
場所 仙台YMCA調理実習室(3階)
出席者 青木(絵)、池田、尾木、加藤、金原、菊地、
車塚、佐藤(あ)、清水、南澤、涌澤
<メネット> 池田、加藤、金原
<ゲスト> 只浦徳子さん、佐藤あゆみさん、西村
富子さん、菊地康子さん、佐々木由紀さん・遠藤美
咲さん(西山児童館)、黒田敦さん・高橋陽子さん
(仙台YMCA)、吉田紘子さん(東京むかで)、井
上優子さん(もりおか)、今澤智代さん・田中京子
さん・田村治之さん・田村成子さん吉田一恵さん
(仙台)、佐藤善人さん・松本京子さん(仙台広瀬
川) ゲスト計17名
司会 加藤真子メネット
報告 池田裕子メネット

～ほろ酔い気分でベジタブルカクテルの夕べ～

今年のメネットナイトのテーマは「野菜とカクテル」で、「みやぎ野菜ソムリエの会」の只浦徳子さんをゲストスピーカーに迎え、17名のゲストの方々と共に、好奇心と期待感を持って、YMCA3Fの調理室で開かれました。

只浦さんは主婦(佐藤あつ子さんの友人)でいらっしゃって、自家農園で丹精込めて作られた無農薬の野菜とリキュールとのコラボを工夫され、健康的な「ベジタブルカクテル」を作っておられ、当日は3種類のカクテルを披露して下さいました。



① 大根とルッコラのカクテル ② スペシャルキャロット ③ ソフトカクテル(ノンアルコール)

洋酒ウオッカをベースに、それぞれ大根、人参に数種類のジュース(グレープフルーツ、アップルジュース、りんご酢等々)をブレンドし、グラスもそれぞれウィスキーグラス、カクテルグラスを用いて、トッピングにはそれぞれ大根スティックとルッコラ、カット人参、ハーブでおしゃれに飾り、ベジタブルカクテルは仕上がりました。

私共一同は何しろ初体験でしたので、興味津々で、私初めは大根おろしのおいがし、味も気になりましたが、一口二口と味わうほどに美味しくなり、お弁当をいただきながら、説明を聞きながら、和やかな雰囲気にもまれ会話も弾み、カクテルを楽しみました。只浦さんとスタッフの方は、その日この会のために午後から準備に入れ、材料も多く、グラスの数も多

く、神経を使われたこと感謝しております。お疲れ様でした。

只浦さんからいただいたレシピにある通り、「ほろ酔い気分でベジタブルカクテルの夕べ」になりました。そのレシピの最後にある『カクテルは人と人との距離を近づけ、笑顔にする飲み物』は名言ですね。わが家では夫は日本酒党、妻である私は洋酒党で、ウィスキーにジュースと氷を入れるだけのカクテルで夕食を楽しんでいます。



仙台青葉城クラブ伝統のメネットナイトも今年で26回目となりました。計画・準備の全てをして下さったメネットの方たちに、又遠くから近くから参加して下さいましたゲストの方々に、クラブメンバーの方々に心から感謝いたします。

11月第二例会報告

日時 2015年11月5日(木) 18:45~20:45
場所 仙台YMCA会議室203
出席者 青木(絵)、菊地、金原、加藤、佐藤(あ)、
清水(司会担当)、加藤・金原メネット
議事(記録:加藤書記)

- 1) 遠藤勝志ワイズの退会届について
体調不良のため、会長宛に退会届が出されたが、長年の会員であり直接本人に面談し、長年の功労に礼を尽くすべきとの意見が出された。
- 2) 岸田清実ワイズの慰労会について
有志で慰労会を開催したい旨の提案があり、本人の都合を確認し実施することになった。
- 3) 11/19 第一例会プログラムについて
① ボランティアリーダーズフォーラムの報告
東北福祉大の前田風子さんに20~30分お願いする。
② リーダーズアクトについての最終打合せ・役割分担についての確認
- 4) その他連絡・報告事項
(1) 3クラブ委員会より 11/21-22 被災地小学校サッカー交流&リーダーズアクトについて 11/21の懇親会は大和町の「力屋旅館」にて。宿泊者4,700

円、懇親会の夕食みの参加 2,000 円とする。サッカー引率者の宿泊代は経費とするが、夕食のみ参加の費用は各自負担。東日本区メネット会被災地支援金の中から 60,000 円、ペンタゴンクラブより 3 万円の協賛金が予定されている。案内をドットコムで流す必要ありということで、開催案内と申込書作成を涌澤ワイズが担当する。

(2) 11/28 (土) 17:00~19:00 (仮) 石巻広域クラブ第 1 回 11 月例会開催、宿泊者：田中直前理事、村井仙台YMCA 総主事、清水 日帰り：金原、涌澤

(3) 11/28 (土) 東日本区メネット会が熱海「ハートピア熱海」にて開催。会費 5,000 円

(4) 会長より ①11/28 (土) 北東部評議会がとちぎYMCAにて開催 費用@1,000 円 ②国際議長選出に係わる免除申請を東日本区へ提出済み。

(5) YMCAより ①12/2 仙台YMCAクリスマス 今回より小学生からも 300 円の参加費用をもらう。(小学生未満・留学生は無料) ②クリスマスカードコンテストを実施 ③来場者を通年の 1.5 倍とみて、料理を用意する。11/7 加茂保育園にて 3 クラブメネットと食事担当の加茂職員の打合せ会 ④10/31 西山児童館まつりへの協力御礼 118 名参加、仮装パレード 38 名 ⑤国際地域協力街頭募金 11/3 実施 募金額 73,943 円 これから 11/29・12/23 実施 ⑥12/6 職員クリスマス

(6) その他 ①11/9 広島のクラブより、アメリカのナンシー・ロスさん(教会員) 飯館村視察 ②11/14 西日本区阪和部来仙 案内を皆に流す ③西日本区中西部部会に清水ワイズが出席。メネット会で震災支援について講演。④クラブファンについて 講演料は雑収入として計上し、これまで負担が大きいガソリン代等に自由に出せるようにしたい ⑤12 月クリスマス例会の持ち方について 実行委員長は南澤ワイズにお願い。日程：12/12、12/19、12/17 のいずれかで。 場所：未定 内容：牧師は呼ばず礼拝はプログラムの中でクリスマスメッセージを村井総主事に要請する。会食、オークション、プレゼント交換などを実施する。

第 18 回仙台 YMCA チャリティゴルフ大会報告

今年で 18 回目を迎えました。去年は 80 名参加人数でしたが、今回は 84 名と参加人数を更新しました。高齢化にあって、健康増進に対する意識が年々高まっているとも言えます。一番は大きい要因は、皆様のお声掛けが隅々まで届いているのではないかと。また委員会で決まる参加要項やお礼文が参加者に好感を持たれていることも確かだと思えます。

伊勢(広瀬川クラブ)さんが実行委員長を務められたことも良かったのではないのでしょうか？一旦は 90 名というところまで届いたのですが……。次回に期待しましょう。

まずまずのお天気に恵まれたせいか、皆さんすばらしいスコアで回られました。

収益金の方も最高額を更新し、46 万円超を達成しました。この益金は、2016 ウォーターセーフティーハンドブックに 20 万円。南三陸小、山元町小並びに市内の新入学児童に贈られます。全国ユースリーダー研修会に参加した 2 名の派遣費用に 13 万円、子ども支援基金として、市内の児童養護施設の子供たちを YMCA 夏季プログラムの招待する費用に 13 万円が充てられます。

皆様のご支援によって、青少年の育成事業が続けられる事に感謝を申し上げます。

また、企業団体様始め、個人・職員からの献金や物品提供を賜り、運営していることも欠かせません。改めてお礼を申し上げます。これからも青少年の成長を願い、育成事業への奉仕活動に努めて参ります。今後とも YMCA へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。(菊地弘生記)

西山児童館秋祭り報告

西山児童館館長 尾木 善宣

10 月 31 日 (土) に西山児童館祭りを開催しました。乳幼児 16 名、小学生 80 名、中学生 2 名、一般 20 名、計 118 名の方にお越しいただきました。

館祭実施にあたり、仙台青葉城ワイズメンズクラブ、SMB コンシューマファイナンス、児童民生委員、児童クラブ保護者、子育て支援サポートクラブ、西山小学校放課後子ども教室、西山中学校ボランティア部、宮城野区ジュニアリーダー、リーダー、ナザレ愛児園、鶴ヶ谷保育所(仮装パレードのみの協力)のボランティア 24 名のご協力をいただきました。心より



感謝申し上げます。(↑仮装パレード町内に出発)

今年は、児童館だけに留まらず、地域の保育園 2 園に分かれ、仮装パレードで西山の町内をねり歩きました。途中、我々も知らないサプライズで、道中待ち受けていた保護者にお菓子を配っていただき、地域の方の暖かいご支援をいただきました。多くの皆様の支えがあり、盛大に児童館祭りが開催できました。

▼十勝クラブのかぼちゃ被災地仮設住宅へ届ける

東日本大震災発生後の2011年より毎年支援が続いている十勝ワイズメンズクラブからの栗かぼちゃ 100箱が、今年も支援する仮設住宅に届けられました。毎年心待ちにされている入居されている方々、10月27日(火)は、山元町のみやま荘と岩佐いちご農園、29日(木)は、東松島市ひびき工業団地と根古の仮設住宅、そして石巻市内の支援者に届けることができました。(↓写真はひびき工業団地の仮設住宅)



▼阪和部一行12名、福島～宮城の被災地を訪問

2013年から始まった阪和部被災地復興支援ツアーが林阪和部部長(奈良クラブ)を団長にメン・メネット12名の一行が11月14日(土)～15日(日)に来仙されました。

14日は、黒い袋に入った野積み廃棄物を横目に持参した放射能検知器数値を確かめながら福島第一原発エリアから山元町～関上地区の復興状況を視察しました。山元町では岩佐いちご園を訪問、栽培中の赤く実ったいちごを自分で採って賞味させていただきました。夜は、仙台3クラブとYMCA有志との交流会が行われ、阪和部の皆さんから大きな励ましとパワーをいただきました。

15日は、仙台を北上、南三陸町～大川小学校～雄勝町名振地区～女川町～石巻門脇地区を訪問した。名振地区では、仙台YMCAとワイズが進める「津波の教え石プロジェクト」建立予定地で、津波襲来時の生々しい様子を名振地区会長・高橋さんからお聞きすることができました。(↓写真)



▼ティラー基金理事長夫妻YMCAを訪問

石巻市の小中学校で英語指導助手を務め、大震災で犠牲になられたティラー・アンダーソン(当時24)のご両親(アンディさんとジーンさん)が、11月11日(水)石巻市への訪問の前に仙台YMCAを訪れ、仙台YMCAホテル専門学校4名の奨学生や関係者と懇談した。4名の学生は、最近の学生生活の状況や将来の抱負等を、パワーポイントを使って英語で報告しました。(↓写真)



▼福島第一原発被災地エリアの“いま”

広島県のワイズメンからの紹介が縁で、広島に滞在中のアメリカ人翻訳家ナンシー・ロスさんと第一原発被災地を訪問する機会がありました。11月9日、避難指示解除準備区域と居住制限区域、帰還困難区域と入り混じる南相馬市、ほとんどが居住制限区域と帰還困難区域に入る飯館村、そして全域が非難区域となっている浪江町を訪問しました。飯館村には、原町教会の牧師さんの案内で福島市方面に抜ける山越え国道22号線を通りましたが、飯館村に入ると激しく工事車両が行き交う道路沿いは、除染処分のために一時保存された物資が入る黒い袋の山で、いたるところ埋め尽くされていました。(↓写真)持参した放射能測定器は3ミリシーベルトを超えるとブザーがなるようにセットされており、車の中でも鳴りっぱなしの状態が続きました。南相馬市では教会が運営する保育園には、広場の隅には公的に設置された放射能測定器があり24時間測定必要な状況です。保育所の真向いの公園では、いまだ進入制限で遊ばせることができない状態でした。浪江町中心商店街は人影もまばらで通り過ぎるのは、一時帰宅住民と除染の作業車ばかりでした。海岸地域は一般車は進入禁止で、津波の後片付けと中間処理場の準備作業が始まっていました。



2015 被災地小学生サッカー交流

&ユースリーダーズアクト報告

東日本大震災発生後 3 回目となる被災地の子どもたちを励ます小学生サッカー交流大会が、11 月 21 日（土）と 22 日（日）の 2 日間にわたり、東北学院泉キャンパスにおいて開催されました。高台に位置する



グラウンドからは西南の彼方に仙台のシンボル太白山がくっきりと見える絶好の秋晴れの中での大会となり、多くの小学生、ユースリーダーやワイズ

関係者など多数が参加して行われました。

招待チームは、気仙沼市・鹿折クラブ、石巻市・湊少年団、名取市・閑上少年団 3 チームの選手、監督、指導者など 40 名、仙台 YMCA のサッカークラブ 2 チーム（2 日目は 3 チーム）も加わりました。昨年参加した気仙沼シャークスチームは、他の大会と重なったため不参加となりました。第一日目は午後から翌日の本戦に備えて練習やサッカー交流、開所式、招待チームは合宿所に宿泊をともにし、ユースリーダーも加わり、レクリエーションなどで子ども同士の楽しい交流会がもたれました。（↑写真選手代表挨拶）

並行して午後 2 時より「北東部のユースリーダーズアクト」が 2 時間にわたり招待チームの指導



者、リーダー、ワイズ、YMCA スタッフなど 30 名が出席して行われました。大会会長・中川北東部長の挨拶に始まり、研修の第 1 部では「子どもたちの今」として被災地のサッカーチーム 2 人の監督から講話をいただきました。閑上チームの監督からは、練習場所の学校が取り壊されることになり未だ新しい練習場所が決まってないこと、鹿折のチームの監督は涙ながらに震災発生後のチームの再出発時のいきさつ



や、将来を担う子ども達にいかに関災のことを伝えつつ、夢を実現する支援とは何かなどの話があった。

ワークショップでは 3 グループに分かれ「みんなで考える防災」のテーマで行われ、震災後 4 年 8 か月で経験したことや勉強したことなどを、グループごとの討議が行われ、最後に発表がありました。

宿泊をともにした子どもたちは朝になると対戦相手チームとも親しく話す風景があちこちで見られました。湊チームの主将・高橋雄太君は「お友達がいっぱいできて嬉しい」とのコメントがありました。9 時 10 分開会式、9 時半サッカー大会開始、9 チームによる予選リーグと順位別リーグが行われ、どの試合も白熱した熱戦が繰り広げられました。決勝リーグでは招待チームの鹿折クラブと閑上少年団が同点の引き分けでしたが、勝ち点数で優勝が鹿折チーム、準優勝が閑上チーム、三位が仙台 YMCA 立町 CI チームとなりました。



15 時 30 分より閉会式が行われ成績発表、表彰、記念品贈呈、講評、記念撮影（↓写真）がありました。



参加者は、第一日目が 100 余名、第二日目は応援の家族も多数来場されて 280 余名、メネットコーナーも大人気で（↑写真）負傷者も出ることなく有意義な大会となりました。最後に、被災地の指導者の皆さんからは、多くの感謝の言葉と、来年もぜひ開催してほしいとの要望が出されました。



大会開催にあたって、ご支援いただいた全国のワイズメン・メネットの皆さん、ユースリーダー、YMCA スタッフの皆さん、会場や宿泊所をご提供いただいた東北学院泉キャンパスのご関係者に心からの感謝を申し上げます。（報告：清水）



▼東日本区渡辺理事メッセージ (要約)

主題:「原点に立って、未来へステップ」



今月は「ワイズ理解」そして「ファミリーファスト」月間です。前ヒストリアンの吉田明弘さんが書かれたヒストリアンズ・ビューNo.18に、11月10日の「ワイズデー」について、次のように書かれてあります。

『1928年11月10日に、大阪クラブが日本で初めてワイズメンズクラブ国際協会に加盟したことを記念したものです。毎年この日を中心に全国のワイズメンが一斉に行動を起こすことによって、外部に対しPR活動を行うとともに内部に向けては、クラブの団結、融和をはかることが提案趣旨でした。実際の活動内容は、各クラブの地域性、特色を考慮して、クラブ、部に一任するという内容です。そして、この年の11月10日の第1回ワイズデーでは、区が全国的にファミリーファスト (FF) を行うことが提唱されました。』

例えば、東日本区すべてのクラブで日にちを決めて、それぞれの地域の街頭で一般の方々に「ワイズ知っていますか?」、「YMCA 知っていますか?」の「ワイズ理解」のキャンペーンは如何でしょうか。地域社会での「ワイズ・YMCA 理解」運動の現実を見つめることが出来るかもしれません。そして、新たなワイズの進むべき道が考えられるかもしれません。次年度は東日本区創立20年になり、この間いくつもの大きな災害を経験しました。また、東日本区内でも大震災(不祥事)がありました。残すものは大事にし、変えるべきものは勇気をもって変えていく時かもしれません。東日本区には文献組織検討委員会があり、組織の見直しなど、精力的に委員会が開催され、区の運営に無くてはならない役割を果たしています。また、この委員会には加えて「定款見直しワーキングチーム」があり、二年目を迎え将来に向けた組織の充実に活動をお願いしています。

年4回開催されます東日本区役員会では、議案の審議に加え、今年度から役員(部長・事業主任等)の皆さんの「協議」の場を設けてあります。

ワイズでの疑問・御意見など、クラブ又は部内で解決できないことなどをこの協議の場で意見交換をさせていただいています。ぜひ、積極的にワイズ活動に御意見を願います。

<http://ys-east.jimdo.com/rd-report/>

(1) 第44回仙台YMCAクリスマス

留学生と仙台市民との交流を目的に行われるイベントです。お食事やゲームをしながら、イエス・キリストの誕生を祝い、たくさんの新しい友だちを作りましょう。

日時: 2015年12月2日(水) 18:00~20:30

場所: 仙台市民会館展示室

チケット代: 留学生 無料、一般 1,000円

学生 500円(中学生以上) 小学生 300円

小学生未満および留学生家族は無料

(2) 仙台YMCA職員クリスマス

日頃なかなか顔を合わせることができない職員、YMCAを支えてくださるレイパーソンの皆さまと一堂に会し、共にクリスマスを祝う時を過ごしたいと思います。ぜひご参加ください。

日時: 2015年12月6日(日)

礼拝: 日本聖公会東北地区仙台基督教会

受付 15:30 開始 16時

祝会: 『オーシャンファタール』

受付 17:30 開始 18時

会費: 4,200円

(3) 街頭募金のご協力のお願い

日時: 2015年11月29日(日) 14:00~16:00

12月23日(火・祝) 13:30~15:30

場所: 三越前、藤崎前、フォーラス前、みずほ銀行前(予定)

(4) 今後の予定

日時: 2016年2月11日(木・祝)

第1部: 仙台YMCA全体研修会

9:00~15:00(旧県民会館)

第2部: 110周年記念シャンソコンサート

16:00~17:40(市民シアターホール)

< HAPPY BIRTHDAY >

11月26日

尾木 ちえさん

クラブ・今後のスケジュール

11月28日(土) 石巻広域ワイズ11月準備例会

〃 北東部評議会(宇都宮)

〃 東日本区メネット委員会(熱海)

12月02日(水) 仙台YMCAクリスマス(市民会館)

12月03日(木) 仙台青葉城クラブ第二例会

12月12日(木) 仙台青葉城クラブクリスマス例

01月07日(木) 仙台青葉城クラブ 第二例会